

### コメント

#### 1 手足口病

定点当たり1.48人と、前週の約2.1倍に増加しました。  
口の中の粘膜や手足などに水疱性の発疹がでるウイルス性の疾患で、乳幼児を中心に、夏季に流行がみられます。

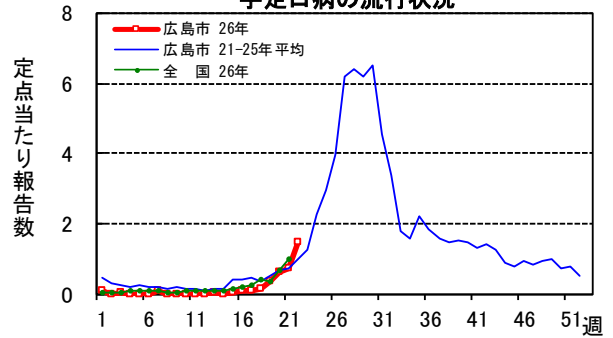
#### 2 ヘルパンギーナ

定点当たり1.52人の報告があり、増加傾向です。また、例年と比べて多い状況が続いています。  
いわゆる「夏かぜ」の一種で、発熱とともに、喉に痛みと水疱が現れます。

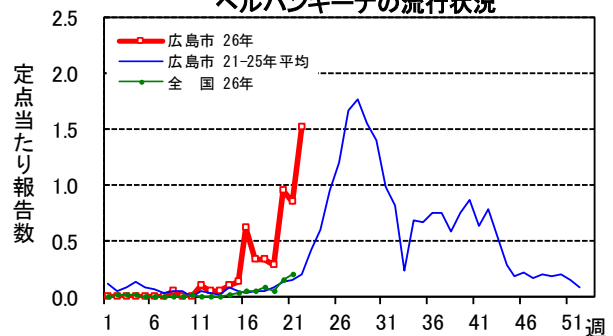
いずれも感染経路は、飛沫感染、接触感染、糞口感染で、回復後も2～4週間程度、便中にウイルスが排泄されることがあります。

手洗いの励行、オムツの適切な処理、タオルの共用を避けるなど、感染予防対策を心がけましょう。(次ページ参照)

手足口病の流行状況



ヘルパンギーナの流行状況



### 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間	発生記号
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	1651	48.56		⇒	小児科	突発性発しん	9	0.43	0.36	
	インフルエンザ	-	-	0.49			ヘルパンギーナ	32	1.52	0.21	⇒
	新型コロナウイルス(COVID-19)	11	0.32		⇩		流行性耳下腺炎	-	-	0.09	
小児科	RSウイルス感染症	3	0.14	1.27		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	6	0.29	0.66			流行性角結膜炎	9	1.13	0.85	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	52	2.48	2.36	⇒	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	107	5.10	6.17	⇒		無菌性髄膜炎	-	-	0.06	
	水痘	9	0.43	0.15			マイコプラズマ肺炎	2	0.33	0.07	
	手足口病	31	1.48	0.96	⇩		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	3	0.14	0.60			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.03	

急増減	⇩	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	⇒	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	⇨	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	⇨	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI)定点数(内科・小児科)	34
小児科定点数	21
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

### 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	58	60歳代、80歳代、90歳代
5	後天性免疫不全症候群	1	2	30歳代・感染者
5	水痘(入院例に限る)	1	1	70歳代
5	梅毒	6	48	20歳代・2人、30歳代・2人、40歳代・2人
5	百日咳	1	24	10歳代

# ■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	報告週	急性呼吸器感染症 (ARI)	インフルエンザ	新型コロナウイルス (COVID-19)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎
		広島市	第18週	2,118	12	15	4	8	57	111	8	3	1	3	7	-	-	4	-	-	1	-
	第19週	1,272	3	15	1	8	39	84	3	7	-	2	6	-	-	3	-	-	3	-	-	-
	第20週	1,643	4	15	5	6	54	124	6	13	2	7	20	1	-	2	-	-	-	1	-	-
	第21週	1,626	-	22	6	6	54	108	4	15	1	8	18	1	-	4	-	-	2	-	-	-
	第22週	1,651	-	11	3	6	52	107	9	31	3	9	32	-	-	9	-	-	2	-	-	-
定点当たり	第18週	64.18	0.36	0.45	0.19	0.38	2.71	5.29	0.38	0.14	0.05	0.14	0.33	-	-	0.50	-	-	0.17	-	-	-
	第19週	37.41	0.09	0.44	0.05	0.38	1.86	4.00	0.14	0.33	-	0.10	0.29	-	-	0.38	-	-	0.50	-	-	-
	第20週	48.32	0.12	0.44	0.24	0.29	2.57	5.90	0.29	0.62	0.10	0.33	0.95	0.05	-	0.25	-	-	-	0.17	-	-
	第21週	47.82	-	0.65	0.29	0.29	2.57	5.14	0.19	0.71	0.05	0.38	0.86	0.05	-	0.50	-	-	0.33	-	-	-
	第22週	48.56	-	0.32	0.14	0.29	2.48	5.10	0.43	1.48	0.14	0.43	1.52	-	-	1.13	-	-	0.33	-	-	-
全国	第20週	47.65	0.14	0.37	0.28	0.43	3.02	5.01	0.48	0.65	0.09	0.36	0.15	0.04	0.01	0.52	0.02	0.03	0.16	0.01	0.06	0.06
	第21週	46.81	0.09	0.36	0.30	0.46	3.07	5.27	0.39	0.98	0.08	0.36	0.20	0.05	0.01	0.46	0.03	0.05	0.22	-	0.05	0.05

## ■ 新たに判明した病原体検出状況

診断名	主症状	年齢	発症年月日	検査材料	検出病原体
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	発疹	3	2026/04/13	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌UT
流行性角結膜炎	結膜炎 結膜充血 眼脂	22	2026/03/07	結膜擦過物	アデノウイルス56型

(検査: 広島市衛生研究所)

## ■ 病原体検出状況(ARIサーベイランス)

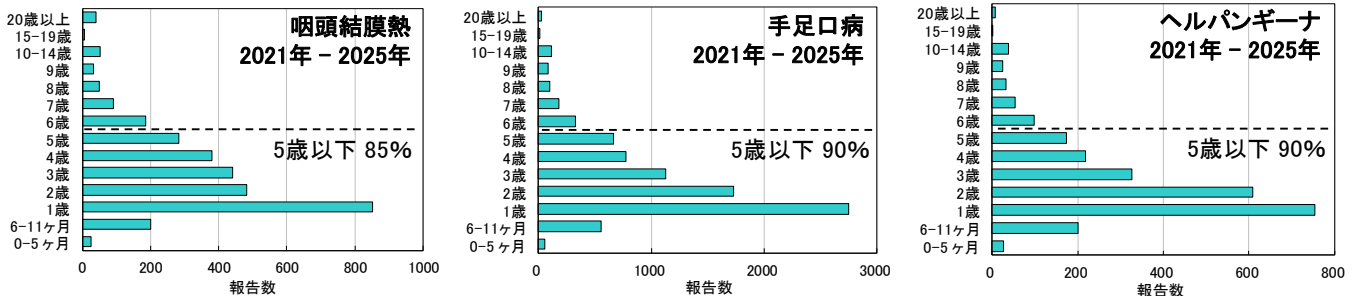
感染症発生動向調査に基づくARI病原体定点医療機関からの搬入分のみ掲載

検体採取週	検査検体数	陽性検体数*	インフルエンザウイルス A H3	インフルエンザウイルス B型インフルエンザウイルス (山形系統)	新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)	A型RSウイルス	B型RSウイルス	ヒトメタニューモウイルス	パラインフルエンザウイルス1型	パラインフルエンザウイルス2型	パラインフルエンザウイルス3型	パラインフルエンザウイルス4型	ライノウイルス	エンテロウイルス	アデノウイルス
第17週	15	9			3		1	3			1		4		3
第18週	9	9				1		2					6	1	
第19週	9	6						1					4	1	
第20週	13	7			1						1		5	2	3
第21週	14	13			1	1	1	1	1		1		6		3

\* 同一検体からの複数ウイルス検出例を含む (検査: 広島市衛生研究所)

詳しくはホームページで [広島市 病原体](#)

## 【参考】夏季に流行する感染症の年齢階層別報告数



咽頭結膜熱、手足口病、ヘルパンギーナは、いわゆる「夏かぜ」の代表的な疾患です。広島市における過去5年間の小児科定点からの累積報告数を年齢階層別にみると、いずれも1歳が最も多く、5歳以下が85~90%を占めています。保育園や幼稚園など、集団生活の場では特に注意が必要です。手洗いの励行、排泄物・オムツの適切な処理、タオルの共用を避けるなど、感染予防対策を心がけましょう。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。  
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/eisei/1003071/index.html>



### 【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号  
 TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp